

会長辞任にあたって

子 安 政 宏 (3 期生)

初代の山田雅人会長(1期生)より会長職を引き継いでから20年余りが立ちました。長居をしてしまいましたが、このたび、第2代同窓会長を辞することといたしました。

後任には、同窓会報でもお知らせのとおり、森秀明さん(4期生)に新会長を引き継ぎました。森新会長は、私の会長在任中、副会長として実質的な同窓会運営をやりくりしてきた人物です。新会長の下、活発な同窓会活動に期待してください。

さて、私が会長を務めた20年余りの間に、個人情報保護法の施行等、社会情勢の変化により、この同窓会活動の根幹としてきた同窓会名簿の管理と発刊等会員情報の取り扱いにより慎重になる必要性に迫られました。また、同窓会活動の原資となる同窓会費の徴収についても、当時の学校とのやり取りの中で、それまでの永年会費制を25期生から年会費制にすることを決断したことは、会費収入の激減につながってしまいました。会報の発行や会費徴収の案内を出すたびに大赤字を出してしまうことや私をはじめ役員が多忙にかまけて、定期的な会報の発送すら滞る状態が続き今日に至ってしまいました。これらを解決できずに会長を辞すことは、私の不徳の致すところであります。会員の皆さまには、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

このような状況でしたが、活動を振り返ると、創立30周年、40周年記念事業では多くの皆さまからのご支援をいただき、母校への形のある援助ができました。また、すべての卒業式に出席できたわけではありませんが、多くの後輩たちへ旅立ちを祝福する言葉を贈ることができました。同窓会長としては、なんとも不甲斐ない会の運営に終始してしまいましたが、役員の方々に助けられながら、なんとか繋げたのではないかと考えています。

結びに、来年は創立50周年記念式典が開催されます。検討事項は多くありますが、新制役員の下、周年行事の成功と同窓会のさらなる発展を願っています。

これからは一同窓会員として皆さんとともに同窓会活動を応援してまいります。ありがとうございました。

退任に寄せて

川 崎 香 (2 期生)

1983年、同窓会の仕事を頼まれて引き継いだ会計簿は定規で線を引いたノートで、会計報告は手書きの時代でした。今ではパソコンが計算や並べ替えもしてくれ、ずいぶん便利になりました。

変わったのは会計のやり方ではありません。今年、数十年ぶりに金井祭にお邪魔しました。国道一号からつながっている新しい道路や学校の隣には業務スーパーができ、生徒の明るさは同じだけれど制服は新しくなっています。更に校舎内は外履きからの履き替えをしない一足制になり上履き不要、WCにはウォッシュレット。いつまでも昔の金井と思うなよ、なのだ感慨深くしみじみしました。

手書きの会計報告から40余年、この度退任となりました。ありがとうございました。

子安政宏さんには、平成14(2002)年9月、山田初代会長から引き継ぐ形でそれまでの副会長から第2代会長に就任、以来、4月の臨時総会までの22年間にわたって会長職を務めていただきました。その後、会務引継ぎのため、副会長として残留されていましたが、今回、その副会長を退任されるにあたり、会長辞任のご挨拶をいただきました。また、川崎香さんには、会費制度や会費の徴収方法、銀行の仕組みなど様々な変化のある中、昭和58(1983)年からの41年間という極めて長きにわたり、会計という要職を務めていただきました。

おふたりの長年にわたるご尽力に改めて感謝いたします。【会長・森】